

令和4年度  
群馬県公立高等学校  
入学者選抜学力検査問題

社 会

(後期選抜)

注 意 事 項

- 1 「始めなさい。」の指示があるまで、問題用紙を開かないこと。
- 2 解答は、全て、解答用紙に記入すること。
- 3 「やめなさい。」の指示があったら、直ちに筆記用具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置くこと。
- 4 問題は、1ページから11ページまであります。
- 5 解答用紙の、の欄には何も書かないこと。

1 花子さんは、地域学習のまとめとして、長崎県について調べ、発表した。次の図と資料は、そのときに使用したものの一部である。次の(1)~(5)の問いに答えなさい。

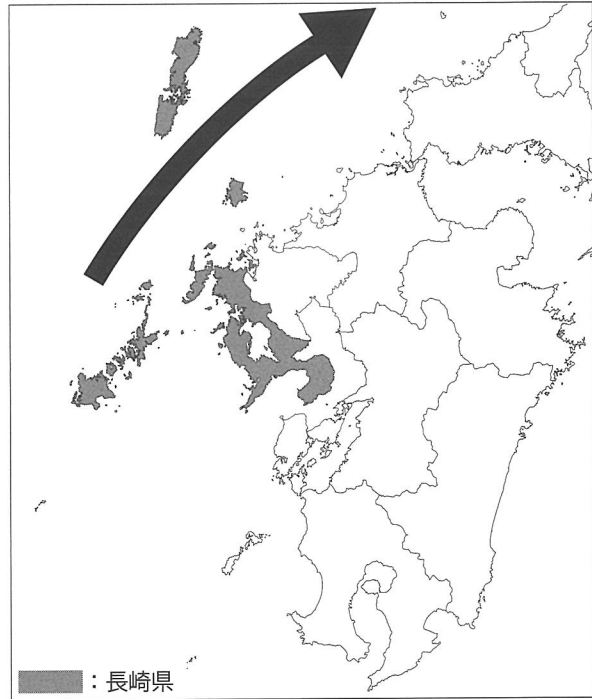
(1) 図の➡で示した位置を流れる海流の種類 図

とその名称の組み合わせとして適切なものを、次のア~エから選びなさい。

- ア 暖流 — 対馬海流
- イ 寒流 — 対馬海流
- ウ 暖流 — リマン海流
- エ 寒流 — リマン海流

(2) 花子さんは、長崎県の海岸線距離が北海道に次ぐ2位であることを知り、資料Ⅰを作成し、次のように発表した。花子さんが発表した内容の□iに当てはまる文を、長崎県の地形的な特徴に着目して、簡潔に書きなさい。

資料Ⅰを見ると、長崎県の面積は、全国で37位ですが、海岸線距離は、北海道に次ぐ2位であることが分かります。長崎県の海岸線距離が長い理由は、図から2つあると考えました。1つは海岸線が入り組んでいることです。もう1つは□iことです。



資料Ⅰ

都道府県	海岸線距離(m)	都道府県別海岸線距離の順位	面積(km <sup>2</sup> )	都道府県別面積の順位
北海道	4,460,605	1位	83,424.49	1位
長崎県	4,183,357	2位	4,130.98	37位

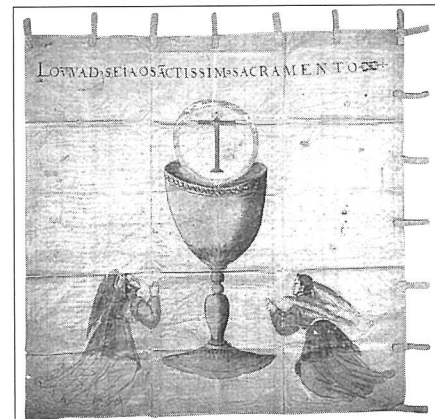
(環境省資料などにより作成)

(3) 花子さんは、長崎県に関連する歴史について調べたことを、資料Ⅱを用いて発表した。資料Ⅱ中の□iiに当てはまる語句を、資料Ⅲを参考にして、書きなさい。

資料Ⅱ 島原・天草一揆が起こった背景

- a 島原・天草地域を支配した大名が、農民に対して重い年貢の取り立てを行った。
- b 島原・天草地域を支配した大名が、□iiを行った。

資料Ⅲ 天草四郎の陣中旗



※陣中旗とは、一揆軍の象徴となる旗のこと。

(4) 花子さんは、長崎市が原爆被爆都市であることから、核兵器と平和に関わるできごとを整理した。次のア~ウのできごとを、古い順に並べなさい。

- ア 国会で非核三原則が決議された。
- イ 広島で第1回原水爆禁止世界大会が開催された。
- ウ 平和主義を盛りこんだ日本国憲法が公布された。

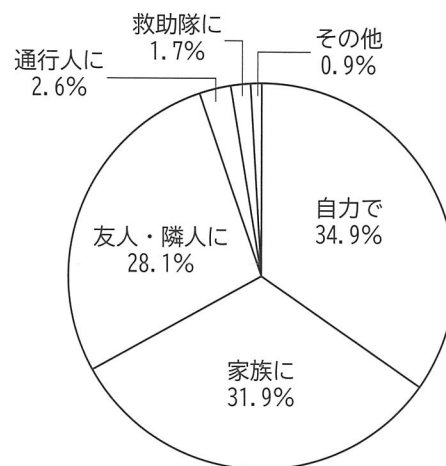
(5) 花子さんは、長崎県では、これまで台風、火山の噴火等によるさまざまな被害が発生したことから、「みんなで取り組む災害に強い長崎県づくり条例」を制定したことを知り、この条例について調べ、次のように発表した。花子さんが発表した内容の□ iii □に当てはまる文を、資料Ⅳ、資料Ⅴを参考にして、「地域」という語を用いて、簡潔に書きなさい。

資料Ⅳと、長崎県が条例づくりの際に参考とした資料Ⅴから、この条例は、消防、警察、行政が人々を救助・援助する活動だけでなく、□ iii □活動や、災害から自分自身や家族を守る活動を盛んにして、みんなが安心して暮らしていける「災害に強い長崎県」を実現することを目指していることが分かります。このように、災害に対しては、「公助」だけでなく、「共助」と「自助」を大切にすることが全国の各地域に広がってほしいと考えました。

資料Ⅳ 条例が必要とされる背景

近年、いつでもどこでも起こりうる直下型地震、大雨の頻度増加、台風の大型化などによる災害の頻発と大きな被害が懸念されています。長崎県の防災対策は、これまで県や市町など行政が中心となって対策をすすめてきました。しかし、各地で多発する被害に対して、県や市町の対応だけでは早期に十分な対応ができない場合もあることを考えておく必要があります。

資料Ⅴ 阪神・淡路大震災における身動きが取れなくなった際の救助



(資料Ⅳ、資料Ⅴは長崎県ホームページにより作成)

2 麻衣さんは、「日本の諸地域の学習」において、中部地方を、東海、中央高地、北陸の3つの地域に分け、それぞれの地域の自然環境や産業の特徴について調べ、その内容について発表した。次の資料と図は、そのときに使用したものの一部である。後の(1)~(4)の問いに答えなさい。

資料Ⅰ 東海、中央高地、北陸の特徴

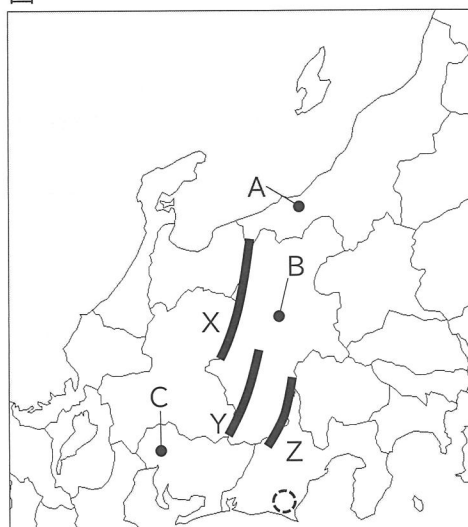
	東海	中央高地	北陸
自然環境	・太平洋側の気候 ・「木曾三川」が流れる濃尾平野がある	・内陸性の気候 ・日本アルプスと呼ばれる (a) 3000m級の山々が連なる	・日本海側の気候 (b) ・日本最長の信濃川が流れる越後平野がある
農業	・園芸農業が盛ん ・茶の栽培が盛ん (c)	・果樹の栽培が盛ん ・高原野菜の栽培が盛ん	・米づくりが盛ん
工業	・繊維工業の技術力を生かした工業が発達	・水資源などを生かした電子部品などを製造する工業が発達	・農家の副業から発達した地場産業や伝統産業をもとに、工業が発達

(1) 下線部(a)について、図中のX, Y, Zのそれぞれの山脈の名称の組み合わせとして適切なものを、次のア~エから選びなさい。

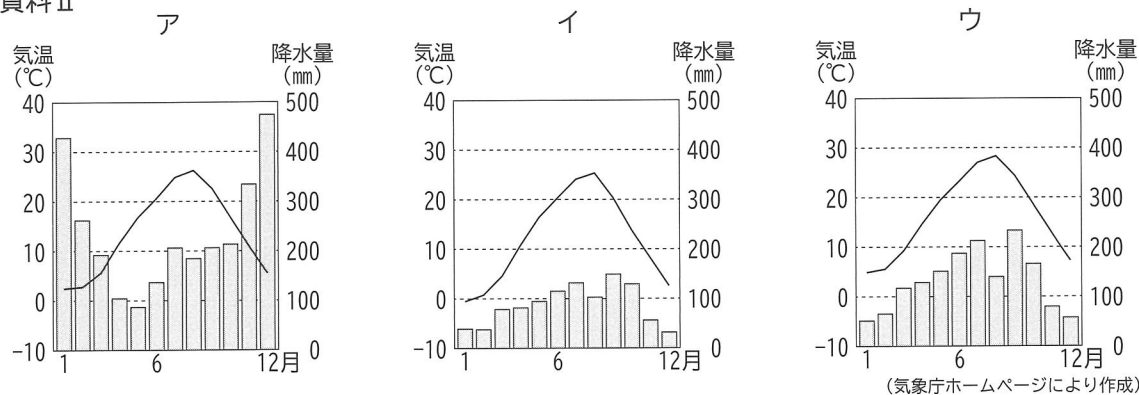
- ア X：飛驒山脈 Y：赤石山脈 Z：木曾山脈  
 イ X：飛驒山脈 Y：木曾山脈 Z：赤石山脈  
 ウ X：赤石山脈 Y：木曾山脈 Z：飛驒山脈  
 エ X：赤石山脈 Y：飛驒山脈 Z：木曾山脈

(2) 下線部(b)に関して、資料Ⅱのア~ウは、図中のA~Cのいずれかの地点の気温と降水量のグラフである。Aの地点に当たるものを、資料Ⅱのア~ウから選びなさい。また、そのように判断できるのはどうしてか、「季節風」という語を用いて、簡潔に書きなさい。

図



資料Ⅱ



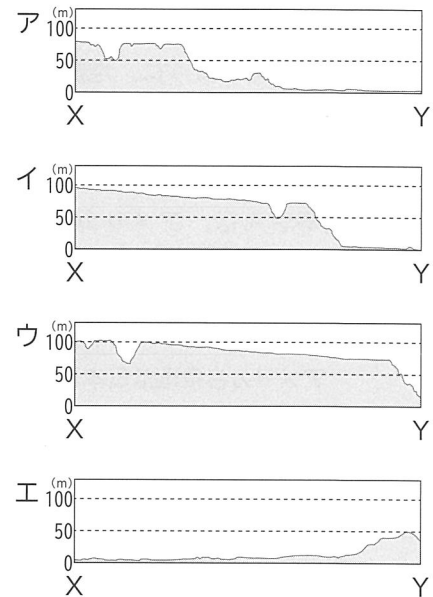
(3) 下線部(c)について、次の①、②の問いに答えなさい。

① 麻衣さんは、図中○で示した地域では茶の栽培が盛んであることを知った。この地域を示した資料Ⅲ中のX-Yの断面の模式図として最も適切なものを、次のア～エから選びなさい。

資料Ⅲ



(国土地理院2万5千分の1地形図「相良」2016年発行により作成)



(国土地理院「地理院地図」により作成)

② 麻衣さんは、図中○で示した地域の茶畑には資料Ⅳのような設備があり、この設備は上空に雲がなく、風のない夜間に稼働することを知った。資料Ⅴ、資料Ⅵを参考にして、この設備の役割を簡潔に書きなさい。

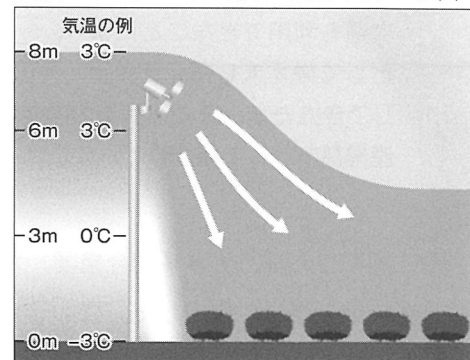
資料Ⅳ



資料Ⅴ 茶の栽培上の問題点

一番茶の新芽(4月上旬頃に始める芽)は寒さに弱く、霜が降りると凍るなどの被害を受けます。最悪の場合には、一番茶が収穫できなくなります。

資料Ⅵ 地上からの高さ気温のイメージ図



(資料Ⅴ、資料Ⅵは、ふじのくに茶の都ミュージアム資料により作成)

(4) 麻衣さんは、中部地方では、地域の特徴を生かした産業が発達していることを知り、資料Ⅶ、資料Ⅷを見つけた。資料Ⅶ、資料Ⅷのア～ウは、新潟県、長野県、愛知県のうちいずれかを示している。新潟県と長野県に当たるものを、次のア～ウから、それぞれ選びなさい。ただし、資料Ⅶと資料Ⅷのア～ウには、それぞれ同じ県名が共通して当てはまるものとする。

資料Ⅶ 県別の主な業種別製造品の出荷額 (2017年)

県名	食料品 (十億円)	金属製品 (十億円)	輸送用機械器具 (十億円)
ア	1,651	1,520	26,473
イ	565	328	398
ウ	731	527	245

資料Ⅷ 県別の主な農産物の農業産出額に対する割合 (2018年)

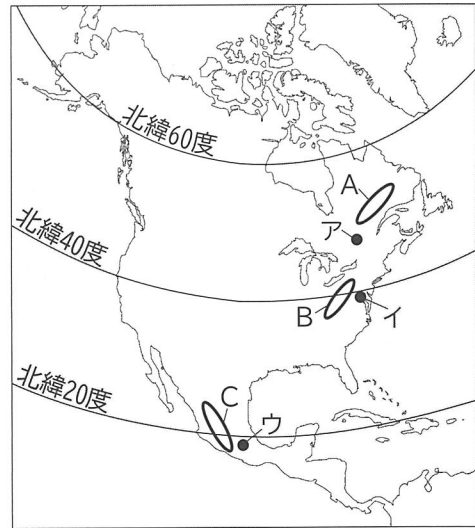
県名	米 (%)	野菜 (%)	果実 (%)
ア	9.5	36.1	6.5
イ	18.1	34.6	27.3
ウ	58.7	14.2	3.1

(資料Ⅶ、資料Ⅷは、「データブック オブ・ザ・ワールド2021年版」により作成)

3 翔平さんは、北アメリカ大陸について調べたことをまとめ、発表した。次の図と資料は、そのときに使用したものの一部である。次の(1)~(5)の問いに答えなさい。

- (1) 東京と緯度が最も近い都市を、図Ⅰのア~ウから選びなさい。
- (2) 日本と同じように、地震や火山の噴火などが起こりやすい地域を、図Ⅰの○で示したA~Cから1つ選びなさい。
- (3) 翔平さんは、アメリカ合衆国の農業に関して次のように説明した。次の文中の□iに当てはまる語として適切なものを、後のア~エから選びなさい。

図Ⅰ



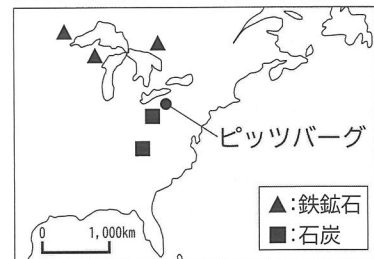
アメリカ合衆国は日本よりも1人当たりの耕作する農地面積が広いので、大型機械を利用した農業が行われています。特に、中西部の降水量の少ない地域では、□iを使用して、大規模なかんがい農業が行われています。このように、アメリカ合衆国は、農作物を大規模に生産し、世界各地へ輸出しています。

ア サンベルト    イ フィールドロット    ウ プランテーション    エ センターピボット

- (4) 翔平さんは、アメリカ合衆国の工業の発展について、図Ⅱを用いて次のように説明した。翔平さんが説明した内容の□iiに当てはまる文を、図Ⅱを参考にして、簡潔に書きなさい。

アメリカ合衆国は、19世紀に重工業が盛んになり、世界有数の工業国へ成長しました。なかでもピッツバーグは、水上交通も利用できたことにより、□iiため、鉄鋼業の街として栄えました。その後、外国産の安い鉄鋼が国内に流入してきたため、新たな産業の開発に力を入れ、現在はハイテク産業都市として発達しています。

図Ⅱ 採掘される鉱産資源



- (5) 翔平さんは、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの移民の現状や労働環境について、資料Ⅰ~資料Ⅲを用いて発表した。この3か国において、これらの資料から読み取れることとして適切なものを、後のア~オから全て選びなさい。

資料Ⅰ 3か国間の移民(2019年)

		移民の出身地		
		アメリカ合衆国	カナダ	メキシコ
移住先	アメリカ合衆国	825,040人	11,489,684人	
	カナダ	270,217人		85,825人
	メキシコ	762,290人	9,914人	

(国際連合ホームページにより作成)

資料Ⅱ 3か国の失業率

	2017年	2018年	2019年
アメリカ合衆国	4.4%	3.9%	3.7%
カナダ	6.3%	5.8%	5.6%
メキシコ	3.4%	3.3%	3.4%

資料Ⅲ 3か国の時間当たり賃金

	2016年
アメリカ合衆国	29.65ドル
カナダ	23.99ドル
メキシコ	2.74ドル

※製造業従事者1時間当たりの平均(アメリカドル)

(資料Ⅱ、資料Ⅲは、「世界国勢図会2020/21」により作成)

- ア 他の2か国からの移民の数が最も多いのは、アメリカ合衆国である。
- イ 他の2か国へ流出する移民の数が最も多いのは、メキシコである。
- ウ アメリカ合衆国では、失業率が年々上昇している。
- エ カナダは、いずれの年も、失業率が3か国で最も高い。
- オ メキシコは、労働賃金が3か国で最も高い。

4 正さんは、外国から日本に伝わった技術や文化についてまとめ、発表した。次のカードと資料は、そのときに使用したものの一部である。後の(1)~(5)の問いに答えなさい。

カード1

縄文時代の終わり頃、中国や朝鮮半島から稲作が北九州に伝えられ、西日本から東日本へと広まっていきました。また、稲作とともに青銅器や鉄器などの金属器も伝わりました。  
(a)

カード2

遣隋使や遣唐使を中国にたびたび送ったため、当時の日本では中国の影響を受けた文化が栄えました。仏教や中国の制度は、美術や建築、政治にも大きな影響を与えました。  
(b)

カード3

16世紀半ば、イエズス会の宣教師によってキリスト教が伝えられました。宣教師は、各地に教会・学校・病院・孤児院などを建設したため、信者ははだいに増えていきました。  
(c)

カード4

18世紀には、徳川吉宗が実用的な学問を奨励したため、ことが認められるようになりました。そして、西洋の学問を学ぶ蘭学が盛んになりました。

(1) 資料Ⅰは、カード1の時代に収穫した米を保存するためにつくられた建造物を、復元したものである。この建造物を何というか、書きなさい。

(2) 下線部(a)に関して、資料Ⅱの青銅器はどのような道具として使用されたか、最も適切なものを次のア~エから選びなさい。

ア 武器      イ 工具      ウ 調理具      エ 祭りの道具

(3) 下線部(b)に関する次のア~ウのできごとを、時代の古い順に並べなさい。

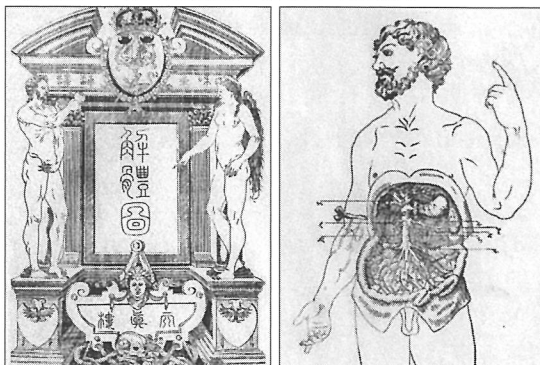
- ア 都に東大寺が、国ごとに国分寺と国分尼寺が建てられた。
- イ 大宝律令がつけられ、全国を支配するしくみが整備された。
- ウ 仏教や儒教の考え方を取り入れた十七条の憲法が定められた。

(4) 下線部(c)に関して、イエズス会がアジアへの布教を行った背景について説明した文として最も適切なものを、次のア~エから選びなさい。

- ア スペインから独立したオランダが、東インド会社を設立した。
- イ 産業革命が起こったイギリスが、海外に原料や市場を求めた。
- ウ カトリック教会が、プロテスタントに対抗して改革を進めた。
- エ ローマ教皇の呼びかけにより、ヨーロッパ各国の王が十字軍を組織した。

(5) カード4のに当てはまる文を、資料Ⅲ、資料Ⅳを参考にして、簡潔に書きなさい。

資料Ⅲ 「解体新書」(1774年発行)



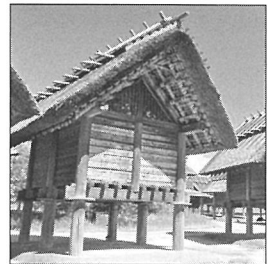
資料Ⅳ 「解体新書」制作の様子を記した「蘭学事始」

…これが、わたし(杉田玄白)が蘭書を手に入れた最初の経験であった。  
…さて、この「ターヘル・アナトミア」を読みはじめるのに、どのように手をつけていったらよいか、まずそれを相談した。  
…その頃はまだ、辞書というものがなく、かろうじて(前野)良沢が長崎から買ってきた簡単な小さな本が一冊あっただけなので、それをのぞいてみると…。

(部分要約)

※「ターヘル・アナトミア」はオランダ語で書かれた医学書のこと。

資料Ⅰ



資料Ⅱ 日本で出土した銅鐸



5 千里さんは、近代以降の歴史について、日本と中国との関係に着目して調べ、発表した。次の年表と資料は、そのときに使用したものの一部である。後の(1)~(5)の問いに答えなさい。

年表

	日本・中国のできごと	世界のできごと
1871年	日清修好条規で日本と清の国交が結ばれる。	
1894年	日清戦争が始まる。	
1895年	下関条約が結ばれる。	
1900年	義和団が北京にある外国の公使館を取り囲む。	
1904年	日露戦争が始まる。	
1911年	清で辛亥革命が起こる。	
1914年		第一次世界大戦が始まる。
1919年		ベルサイユ条約が結ばれる。
1926年	蒋介石が中国統一の軍事行動を始める。	
1931年	満州事変が始まる。	
↑ ↓	【X】	
1937年	日中戦争が始まる。	
1939年		第二次世界大戦が始まる。
1941年	太平洋戦争が始まる。	
1945年		第二次世界大戦が終結する。
1949年	中華人民共和国が成立する。	
↑ ↓	【Y】	
1989年		冷戦が終結する。

(1) 下線部(a)に関して、資料 I は日清戦争が起こる前の東アジアをめぐる情勢を描いた風刺画である。日清戦争が起こった背景についての説明として最も適切なものを、資料 I を参考にして、次のア~エから選びなさい。

- ア 日本は朝鮮をめぐって清と対立していた。
- イ 日本はロシアをめぐって清と対立していた。
- ウ 日本は朝鮮と同盟を結び、清と対立していた。
- エ 日本はロシアと同盟を結び、清と対立していた。

資料 I

**著作権の関係に  
より省略します。**

(2) 下線部(b)について、この条約で獲得した賠償金をもとに行われたできごとを、次のア~エから1つ選びなさい。

- ア 東海道新幹線が建設された。
- イ 官営の富岡製糸場が建設された。
- ウ 官営の八幡製鉄所が建設された。
- エ 鹿鳴館が建設された。



(3) 下線部(c)に日本が参戦した目的を、資料Ⅱ、資料Ⅲを参考にして、簡潔に書きなさい。

資料Ⅱ 井上馨が大隈重信にあてた手紙

今回のヨーロッパにおける大戦は、日本の国運の発展に対する大正新時代の天佑（天の助け）であって、日本国はただちに国をあげて一致団結して、この天佑を享受しなければならない。（部分要約）

※1914年8月8日の手紙。

※井上馨は長州藩出身の有力政治家。大隈重信は当時の内閣総理大臣。

資料Ⅲ 二十一か条の要求

- 一 中国政府は、ドイツが山東省にもっているいっさいの利権を日本にゆずること。
- 一 日本の旅順・大連の租借の期限、南満州鉄道の利権の期限を99か年延長すること。（部分要約）

※租借とは、他国の領土の一部を一定の期間を限って借りること。

(4) 年表中の【X】の時期における、国際社会での日本の動きについて説明した文として最も適切なものを、資料Ⅳを参考にして、次のア～エから選びなさい。

- ア 日本がアメリカとともに、国際協調の方針をとった。
- イ 日本が東南アジアへ進出し、アメリカと対立を深めた。
- ウ 日本がしだいに国際的に孤立を深め、ドイツと接近した。
- エ 日本が北方の安全を確保するため、ソ連と中立条約を結んだ。

(5) 千里さんは、年表中の【Y】の時期に起こったできごとについて、次のように説明した。□A～□Dに当てはまる語句の組み合わせとして適切なものを、後のア～エから選びなさい。

1951年、日本はサンフランシスコ平和条約を結び、主権を回復しました。高度経済成長期を迎えた日本では、1964年にアジア初のオリンピックが開催されました。しかし、中国はこれに参加しませんでした。1972年になると、日本と中国は□Aにより、□Bをはかりました。さらに、1978年、日本と中国は□Cにより、□Dをはかりました。その後、中国の経済発展とともに、日本と中国の関係は深まっていきました。

- ア A：日中平和友好条約 B：平和友好関係の発展 C：日中共同声明 D：国交正常化
- イ A：日中共同声明 B：平和友好関係の発展 C：日中平和友好条約 D：国交正常化
- ウ A：日中平和友好条約 B：国交正常化 C：日中共同声明 D：平和友好関係の発展
- エ A：日中共同声明 B：国交正常化 C：日中平和友好条約 D：平和友好関係の発展

資料Ⅳ 1933年発行の新聞



- 6 修一さんの班は、SDGsの目標の1つである「飢餓をゼロに」について調べ、この目標を達成するための解決策を考え、発表した。次のレポートは、そのときに使用したものである。後の(1)~(4)の問いに答えなさい。

レポート

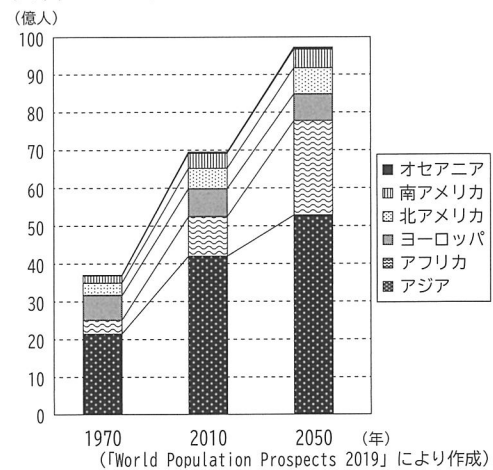
〈テーマ〉

「飢餓をゼロに」するために

〈テーマ設定の理由〉

資料 I では、世界の人口は増加傾向にあり、今後も増加していくことが予測されています。特に2010年から2050年にかけて、その増加の割合が最も大きいと見込まれるのは、の地域です。今後の人口増加にともない、さらに飢餓が深刻化すると思い、解決策を考えることにしました。

資料 I 地域別人口の推移・人口変化の予測



〈調べて分かったこと〉

- 飢餓で苦しんでいる人々が多い国では、生産された農産物の大半が輸出されている。
- 農産物の国際取引価格は、天候や相手国の経済状態などの影響を受けるため不安定である。
- 世界では、<sup>(a)</sup>食料配分に偏りが見られる。<sup>(b)</sup>
- 世界では地域にかかわらず、大量の食品ロス（食品廃棄）が発生している。<sup>(c)</sup>

〈考えた解決策〉

- 先進地域が協力して、飢餓の多い発展途上地域に食料を届ける。
- 発展途上地域に食料の貯蔵や保存ができる施設を整備する。
- 各地域において、安定的で、持続可能な食料生産のしくみをつくる。

- (1) レポート中のに当てはまる語として適切なものを、資料 I を参考にして、次のア～オから選びなさい。

ア アジア    イ アフリカ    ウ ヨーロッパ    エ 北アメリカ    オ 南アメリカ

- (2) 下線部(a)に関して、貿易などの国際取引を行うときには、自国の通貨を他国の通貨と交換する必要がある。通貨と通貨を交換する比率を何というか、書きなさい。

- (3) 下線部(b)について、経済活動が活発な状態を好況という。一般的に、好況時に行われることとして最も適切なものを、次のア～ウから選びなさい。

- ア 「企業」が生産を縮小させる。
- イ 「家計」が商品の購入を減らす。
- ウ 「政府」が公共投資を減らす。

(4) 下線部(c)に関して、次の①、②の問いに答えなさい。

① 修一さんは、先進地域や発展途上地域の食品ロスについて調べ、資料Ⅱを見つけた。資料Ⅱについての記述X、Yの正誤の組み合わせとして適切なものを、後のア～エから選びなさい。

X 1人当たりの年間食品ロスの発生量は、Aの地域やBの地域よりCの地域やDの地域の方が多い。

Y 消費段階において発生する1人当たりの年間食品ロスは、Cの地域やDの地域よりAの地域やBの地域の方が多い。

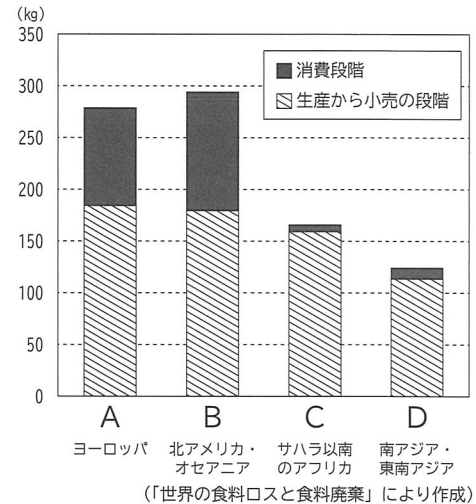
ア【X正 Y正】 イ【X正 Y誤】

ウ【X誤 Y正】 エ【X誤 Y誤】

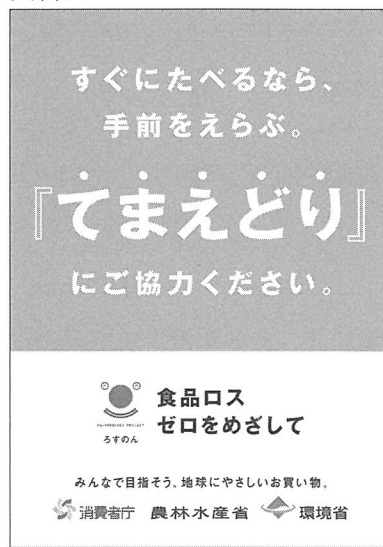
② 修一さんの班は、「飢餓をゼロに」を考える中で、自分たちにもできる食品ロスの削減に向けた取組について、資料Ⅲを用いて、次のように発表した。次の文中の下線部に関して、消費者が資料Ⅲのような取組に協力すると、なぜ小売店は食品ロスを削減することができるのか、資料Ⅳを参考に、簡潔に書きなさい。

私たちは、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの小売店で食品を購入するときは、小売店が食品をできる限り廃棄しなくてもすむよう、資料Ⅲのような取組に協力するべきだと考えました。

資料Ⅱ 1人当たりの年間食品ロス発生量

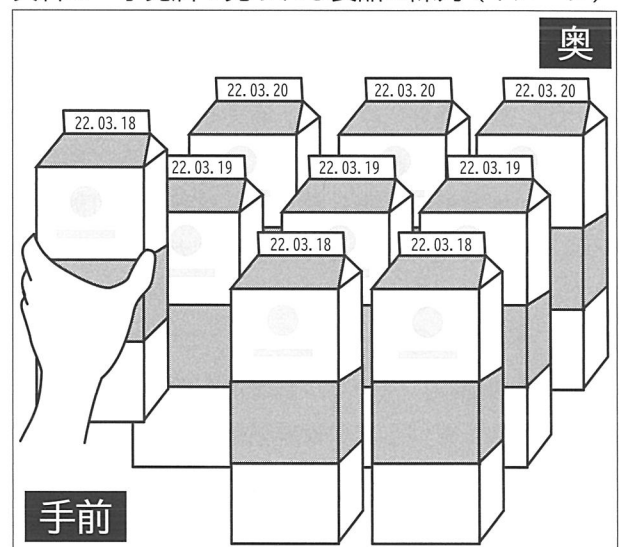


資料Ⅲ



※「てまえどり」は、購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある食品を積極的に選ぶこと。  
(農林水産省ホームページより)

資料Ⅳ 小売店で見られる食品の陳列（イメージ）



7 太郎さんのクラスでは、政治の学習のまとめとして、班ごとにテーマを決めて調べた内容を、発表した。次の発表メモと資料は、そのときに使用したものの一部である。後の(1)~(5)の問いに答えなさい。

A班の発表メモ【憲法改正の発議】

憲法改正について、日本国憲法は、ほかの法律の改正とは異なる慎重な手続きを定めています。憲法改正案が国会に提出され、各議院の□i□の3分の2以上の賛成で可決されると、国会は憲法改正の発議を行います。その後、満□ii□歳以上の国民による国民投票を行い、有効投票の過半数が賛成の場合は、憲法が改正されます。

B班の発表メモ【国際連合】

国際連合は人権の推進、資源・エネルギー問題や貧困対策など、多岐にわたり国際協調を実現させる役割をになっています。特に安全保障理事会は、世界の平和と安全を維持するために、強い権限が与えられています。よりよい合意を形成するために効率と公正といった考え方を踏まえる必要があります。

(1) □i□, □ii□に当てはまる語と数字の組み合わせとして適切なものを、次のア~エから選びなさい。

- ア i : 出席議員 ii : 18      イ i : 出席議員 ii : 20  
ウ i : 総議員 ii : 18      エ i : 総議員 ii : 20

(2) 下線部(a)に関して、日本国憲法では、自由権、平等権、社会権、参政権などの基本的人権が保障されている。日本国憲法で保障されている社会権に属するものとして適切なものを、次のア~エから2つ選びなさい。

- ア 財産権      イ 生存権      ウ 選挙権      エ 教育を受ける権利

(3) 下線部(b)に関して、B班は資料Iを用いて、化石燃料による発電と再生可能エネルギーによる発電の利点と問題点を発表した。資料I中のXとYに当てはまる文の組み合わせとして適切なものを、後のア~エから選びなさい。

資料I

	化石燃料による発電	再生可能エネルギーによる発電
利点	W	Y
問題点	X	Z

- ① 自然条件によらず、電力を安定的に得られること。  
② 電力の供給が天候などの自然状況に左右されること。  
③ 埋蔵量には限りがあり、枯渇する可能性があること。  
④ 二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が少ないこと。

- ア X : ② Y : ①      イ X : ② Y : ④  
ウ X : ③ Y : ①      エ X : ③ Y : ④

資料II ある重要な決議案の投票結果

投票した国	常任理事国5か国 非常任理事国10か国
投票結果	賛成13か国 反対2か国

(4) 下線部(c)について、B班は資料IIを作成し、安全保障理事会におけるこの投票結果について、「賛成した国は多いが、決議案が否決された」と発表した。決議案が否決となった理由として考えられることを、簡潔に書きなさい。

資料III 球技大会の練習割り当て表

	月	火	水	木	金
体育館	1組	3組	2組	4組	球技大会
校庭	2組	4組	1組	3組	

(5) 下線部(d)について、B班は「効率」と「公正」が成り立っている身近な例として資料IIIを作成し、説明した。この資料IIIでは、「効率」は「空く日をつくらず、体育館と校庭を無駄なく利用できている」という点で成り立っているが、「公正」はどのような点で成り立っているか、簡潔に書きなさい。